



## マラソン大会に商機を探してみませんか

国立大学法人小樽商科大学ビジネス創造センター 総務部主任  
経済学科 教授

和田良介

運河ロードレースをビジネスチャンスとして活用してみませんか。今年も6月に開催されました。大会プログラムを手にして必ず見るところは出場者一覧表。自分や知り合いの氏名を探します。広告欄はばらばら。しかし今年は「割引券」の文字が目が止まりました。結局、8月の北海道マラソンの翌日、私は大高酵素のおがくず風呂を体験してきました。帰宅すると妻が3回言いました、肌がつやつや。

マラソン大会にビジネスチャンスを期待するのなら、協賛金の効果が気になるでしょう。人気を高める工夫がされているか知りたくなることでしょう。このような形で関心を持つ協賛企業が増えることは、結果として競技大会としての水準を上げると思います。

「商大100周年には運河ロード・レースを商大生でいっぱいにして。」私は縁あってこの目標にかかわってます。マラソン大会に期待される役割は何か、何を商大生に売り込むか、考えることとなります。①お祭り ②地域住民の心身のリフレッシュ ③スポーツ競技会 ④経済効果。

余市とニセコの大会では、参加賞にTシャツと農産物をあれこれもらえます。ニセコでは温泉の入浴券もついてきます。マラソン大会は収穫を祝うお祭りの一部です。話が飛びますが、お祭りタイプとしてフランスのボルドー地方にメドック・マラソンというのがあります。ワイナリーを巡り42キロを飲み走るそうです。

古平の大会で10キロの部を走ったら私は2番。しめたと思いましたがタイムの計測も表彰式もありませんでした。大会の目的は競技ではなく心身のリフレッシュでした。

遠別町の「ふれあいマラソン」。小中学生向けに細かく分かれた種目が揃えられ、1位から6位まで表彰があります。競技会の体制になっています。7月の「土別ハーフマラソン」。こちらは実業団や本州の強豪大学の選手も出場する競技

会で、距離が正確な陸上競技連盟公認コースで行われます。

ドイツ陸上選手団が五輪前に土別で合宿していました。スポーツ合宿受け入れは産業のひとつであり、マラソン大会には合宿招致の宣伝の役割もあるのでしょうか。この大会は運営方法改善のためアンケートを送ってきたことがあります。今年、道央道終点の料金所を抜けるとちょうど目の前に「マラソンランナー歓迎」の看板。高速料金を少しの間忘れました。アメリカに飛びます。ボストンマラソンでは出場するためには、北海道マラソンで上から3分の1に入る程度の実績が必要とされます。しかし、地元の癌研究所に30万円相当の寄付をすると、記録が足りなくても出場できるとか。そんな人はたくさんいるらしく、私がゴールしてから2時間後でも、まだゴールする人が続いていました。

マラソン大会はどれも祭りから経済効果までの役割を強弱付けて持っていると思います。小樽の場合はどうでしょうか。6月に本州では梅雨です。マラソンの広告を見れば、観光を兼ねてその気になる人もいそうです。マラソン雑誌の広告料は4分の1ページで15万円です。ただしその前に、宣伝については市内向けですら不足のようです。小樽市教育委員会が大会を主催しています。しかし、市内の小学校に働きかけることもないのか、私の息子はずっと自分の学校からの唯一の参加者でした。申込書は商大で配るには数が足りません。

ハーフマラソンの距離は500m程度不足しています。心身のリフレッシュならともかく、競技会としては失格です。本州からはるばるやって来てこれに気が付いたら…。市街地で開催するので多くの人を巻き込みます。これに見合った成果を目指すべきです。大会役員には商工会議所の方々が入っておられます。出番です。協賛金と共に積極的に介入して下さい。そうやってお祭りとして競技会として盛り上げてください。